

令和5年度全国いじめ問題子供サミット 中学3年生3名参加

1月27日 土曜日 文部科学省 講堂

全国の小中学生がいじめ問題について話し合うサミットが行われました。本校から中3生3名が参加しました(全国都道府県、政令指定都市代表64校、小学生24名、中学生111名、文部科学省主催)。

晴天の下、講堂の開場を待つ間、本校いじめ防止活動に関するポスター発表に向け最終確認をしました。開場10時が近づくと全国から模造紙と旅行鞆を持つ児童生徒が集まってきました。

開会では、盛山正仁文部科学大臣が参加児童生徒に向けて、「今日の皆さんで考えたことを、是非自分の学校でも実践してみたい」「きっと皆さんの思いに共感し、いじめをしない、させない、見過ごさないために『周りの人を大切にする』仲間が一人、二人と増えていくはず、このことは勇気のいることですが、必ずいじめをなくすことに結び付いていくと考えます。」「いじめについて、児童・生徒の皆さん自らがいじめを防いでいってほしい」などのお話をしてくださいました。

午前は、参加校が大きく2つに分かれ、各都道府県・各校のポスター発表をするグループと、発表を聞いて回るグループに分かれ本校以外のいじめ防止の取り組みの具体策を知ることができました。

午後はタレントで幼少時、小中高時代にいじめられた経験を持つ景井ひなさんから、いじめを受けた当時のお話、家族にはどうしても話せない時期があった、その時期は自ら命を絶とうと思ったこともあった話しなど、小中学生に向けてのメッセージをいただきました。また今までのSNSや芸能活動への自らへの誹謗中傷について、つらい思いをした時の話しもありました、このような経験から「声を上げられること、なかなか話し辛いと思うけれど、私は高校時代に3人の友達が話を聞いてくれた。声を上げる先は色々あります。また皆さんも積極的までは言わないけど(いじめのターゲットが自分に向く可能性があるから)、一緒にいる、話を聞く存在、そのような関係を大切にしてほしい。」と語って下さいました。

ゲスト体験談のあとはグループ協議を行いました。20グループに分かれてのグループごとの協議と、グループ協議を全体で発表し合う全体交流が行われました。午後前半の全体交流の司会は希望者が行うことになっており藤嶺藤沢の生徒3名も司会を務め、貴重な経験となりました。

午後のグループ協議から全体交流で発表された「小中学生からのいじめ問題に対す



〔会場前にて〕



〔小中学生に語る盛山正仁文部科学大臣〕



〔他の都道府県の実践を知る小中学生〕



〔藤嶺藤沢のいじめ防止について説明〕



〔ゲスト体験談：景井ひな氏㊦ 司会：神谷文乃氏㊦〕

るメッセージ」は次のようなものでした。

「世界は広いんだよ！！」「一人じゃない！」「一人じゃないよ宣言」「人間のSDGs, Be Careful」

「傍観者に向けた日ごろから大切にしてほしい合言葉：変われではなく分かれよう、違いを個性として大切にする、いじりをいじめにつなげない」「多様性を認める、それは、いじめをなくすことにつながる」

「大丈夫！みんなは同じ平均台の上やで！」「いじめゼロ宣言！（いつもどおり、じぶんから、めをみて）」「みんなの頑張りを発見！認め合える学校をつくっていこう」「視野を広げ、周りに目を向ける」

「あなたからの一言で変わる未来」「相手との真ん中を考え一人ひとりが認め合い助け合うこと」「Stop and think together いったん立ち止まって一緒に考えよう」「Stop and think before action いったん立ち止まって行為の前に考えよう」「その個性つぶしてませんか？」

「聞いて！話して！互いのことを知ろう！」「ファーストペンギン！断ち切る雰囲気」

「大丈夫？その一言が 心の支え」（森グループ）

「一人ひとりの意見を尊重して、温かいクラスづくりをしよう」（堀池グループ）

「いじめはしない（今回の子どもサミットのテーマ）いろいろな意見を認めよう/自分もいじめをしていないか確認しよう/メッセージを外に発信できる環境をつくろう/話せる人をつくろう/しっかり周りの人を気にかけよう/なにをいうかよく考えて発信しよう/いじめをなくそう」（堀内グループ）

全体交流後、ゲストの景井ひなさんから講評が行われました。「今回、小中学生の活動を知ることができて良かったです。またグループ協議の各グループの意見を聞いてどのグループもよく考えていると思いました。今日の皆さんの話を、いじめに遭っていた当時の自分に、このようにいじめについて真剣に考えている小中学生が、こんなにもいることを話してあげたいです。」とサミットを通しての思い、いじめ問題についての思いを参加者に伝えて下さいました。



子供サミットについて、
講評する景井ひな氏

朝から夕まで、全国各地からの参加者による様々な発表やメッセージが詰まった子供サミットでした。参加者3名も今後の中高生活に生かしてほしいと思います。長かったようで短い一日でした、貴重な経験となりました、参加させていただき有難うございます。

（藤嶺学園藤沢中学校参加生徒：堀池 錬 堀内 爽矢 森 理信 ）

